

緩和ケアとは

- 緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケア

緩和ケア学会「市民のための緩和ケアの読解文」より

2020年4月より山梨厚生病院へ
入職しました

緩和ケア認定看護師 梶原瞳です
よろしくお願いします



エキスパート新聞

第7号
発行所
認定NS連絡会
広報担当



緩和ケアは「がん治療ができなくなった方への医療」「がんの終末期に受けるもの」と思っている方も、多いようです。『緩和ケア』という言葉のイメージは、まだまだ不安になったり、なんとなく心配になったりされる方もいらっしゃるかもしれません。

しかし緩和ケアは、**がんと診断された時点からすべての患者様に必要なケア**になってきています。そして、近年はがん患者様だけでなく、**いつでも、どこでも、だれでも受けられるケア**へと広がっています。緩和ケア認定看護師は、よりよりケアをチームで提供できるよう、患者様やご家族に関わる多職種をつなぐ架け橋的な役割も行っています。また、病棟看護師へのケアに関わる指導・相談なども行っています。

お気軽にお声をかけてください。



Q 緩和ケア認定看護師を目指したきっかけは？

A 友人の父親が病棟で亡くなった時に、看護師として何ができたのだろう…という後悔が残りました。知識の少なさ、無力感から、がんセンターで緩和ケアを学びました。その経験がきっかけになっています。

Q 緩和ケア認定看護師として大切にしていることは？

A 私は緩和ケア認定看護師として、人間の持っている『生きる力』を信じ、支え、体や心の辛さに寄り添いたいと思っています。患者様の人生や生活に目を配り、その人らしい生き方が最期までできるように、療養の環境を調整し患者様自身や家族の思いを支えることを大切にしています。

Q 緩和ケア認定看護師にどのようにすれば相談できるの？

A 主治医、または近くの看護師へ、がんのことで相談したいと伝えてください。
活動日（火曜日と木曜日）に対応させていただきます。



通院・入院されている患者様で、痛みや精神的な不安などで苦しんでいる方々のサポートをしていくのが主な役割です。そのため、医師や薬剤師などの多職種の方々と一緒に、カンファレンスをして治療やケアに役立っています

